

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営等に関する要綱第7条第4項の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和3年度第1回高松市社会福祉審議会 児童福祉専門分科会
開 催 日 時	令和3年8月19日（木）から令和3年8月27日（金）の間 で書面開催
開 催 場 所	書面開催
議 題	1 保育所の認可について 2 地域型保育事業の認可について 3 地域型保育事業の廃止について
公 開 ・ 非 公 開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
非 公 開 の 理 由	—
出 席 委 員	8人
	加野分科会長、金倉委員、栗委員、栞原委員、樽谷委員、西岡委員、二宮委員、増本委員
傍 聴 者	0人
担 当 課 及 び 連 絡 先	こども保育教育課    （ 8 3 9 - 2 3 5 8 ）

### 会議の経過及び結果

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集合せず、書面による開催とした。

議事録の署名人として加野会長を指名

- 1 保育所の認可について
- 2 地域型保育事業の認可について
- 3 地域型保育事業の廃止について

議題1～3についての概要説明を行った。

各委員に諮ったところ、全員意義なく、原案のとおり承認した。

**【主な意見要旨】**

（委員）

小規模保育事業所の新規申請が6施設あるが、全て認可するのか。

（事務局）

審査票のとおり、制度的な基準を満たしていることが確認できた施設については、全て認可させていただく予定である。

（委員）

今回の小規模保育事業所の新設など、順調に施設整備や認定こども園への移行が進

んでいると思う。受皿の確保が充実してきており、来年度には待機児童が解消されるのではないかと思う。

(事務局)

市内で待機児童数が多く、保育申込者数も多い中部地区に6件新設されること、また、保護者からの入所受付時に他の空き施設の利用を積極的に勧めることなどにより、来年度の待機児童数は、解消、又は、現在の29人からかなり減少され、解消に近い人数となるよう取り組んでいる。

(委員)

特に南部地区などの、空きがある施設を保護者に活用してもらうことも必要だと思う。

(事務局)

御意見のとおり。立地条件や保護者の方の希望などにより、なかなか全ての園を有効に活用できていない状況である。ある程度の距離があっても、他の空いている園を利用していただけるような市側の工夫や対応も必要だと感じている。

(委員)

保育所の入所選考では働く保護者が優先されるのか。

自宅で病氣療養(うつ病など)をしている保護者の子どもについて、保育所申込みをしているが、何度も待機となっている場合があると聞く。在宅で健全に子どもの育児ができない母親は多く、ネグレクトにつながりかねないので心配している。

施設が新しくできることは、選択肢が増えることになるので、保護者にとっていいことだと思う。みんなが希望する園に入れるようになればいいと思う。

(事務局)

保育の支給認定に当たっては、点数による優先順位はついてしまうが、保護者が働いていなくても、医師の診断書による疾病障がい要件などにより、申込みをすることができる。

希望施設を特定の1園2園のみではなく、さらに複数に増やして申込みすることや、毎月市ホームページで施設の空き状況(○×△印)を公表しているのも、あらかじめ入りやすい施設(○印)を選択していただくことなどで、入所できる確率が上がる。また、虐待のおそれがあるなど、緊急性を要する場合は、市において相談を受け付けているので、今後も関係機関と連携していきたい。

(委員)

カナン空港こども園の事業所廃止については、仕方のない理由だと思う。

(事務局)

6月、法人から保護者全員に対して、現状と事業所廃止の理由などについての説明がされた。保護者のみなさまも、やむを得ない事情であることを御理解いただき、全員が転園手続を取ってくださっている。